

イスラエルとパレスチナの市民や子どもを狙った全ての暴力行為を
非難し、即時停戦を求める決議について

イスラエルとパレスチナの市民や子どもを狙った全ての暴力行為を非難し、即時停戦を
求めることに関して、別紙のとおり決議案を提出する。

令和5年12月1日

旭川市議会
議長 福居 秀雄 様

提出者 旭川市議会議員

横山 啓一
上野 和幸
江川 あや
たけいし よういち
まじま 隆英
塩尻 英明
高木 ひろたか
中野 ひろゆき
えびな 安信
高橋 ひでとし
佐藤 さだお
石川 厚子
高花 えいこ

イスラエルとパレスチナの市民や子どもを狙った全ての暴力行為を
非難し、即時停戦を求める決議

10月7日から始まったイスラエル・ガザ紛争では、約1か月で死者数が1万人を超える深刻な事態に陥っている。グテーレス国連事務総長が「ガザは子どもたちの墓場になりつつある」と即時停戦を訴えたように、ガザ地区ではとりわけ子どもたちの犠牲が増え続けている。

国連総会は10月27日、ガザ地区の情勢に関して緊急特別会合を開き、敵対行為の停止につながる即時かつ持続的な人道的休戦を求める決議を採択した。イスラエルとハマスの双方を始めとする全ての当事者が、この決議に従い、国際法を完全遵守し、暴力行為を中止すべきである。

ガザ地区では電力、食料、医薬品、燃料などが遮断され、深刻な人道的危機に直面している。人質の解放を条件に4日間の戦闘中断が合意されたところであるが、イスラエルはハマスを壊滅させて人質を全員解放する目標を達成するため、中断が終わった後に戦争を再開する意思を表明している。これ以上の犠牲者を生まないために戦闘行為を直ちに中止し、即時停戦を行うように、全ての当事者に求めるものである。

よって、本市議会は、「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有する」と宣言する憲法を持つ日本が、国連憲章と国際法を基準に国際社会との緊密な連携の下、市民の犠牲を食い止め、ガザへの人道支援を行うことができるように、関係各国に即時停戦を強く働きかけて、一日でも早く和平が実現できるよう強く求める。

以上、決議する。

旭 川 市 議 会